

(10)

会計課の目標

会計課

- 公金の適正な出納を行うとともに、安全で確実な管理・運用を行い、行政に対する市民の安心感と信頼感を高めます。

会計課

めざすまちの姿

公金の適正な出納を行うとともに、
安全で確実な管理・運用を行い、
行政に対する市民の安心感と信頼感を高めます。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

関係法令を遵守し、公金を適正に執行するという認識を、会計事務にあたる職員一人ひとりが自覚し続け、各業務にあたることで、市民との信頼関係の醸成（形成）につながります。

伝票の電子決裁化や AI、指定納付受託者制度※等の導入により正確性を保持しつつ、全庁的な会計事務の簡素化・効率化・明確化等の見直しを進めることにより、行政に対する市民の安心感と信頼関係の維持・向上を目指します。

公金の支払い以外で直接的な市民との接点はありませんが、伝票事務の簡素化・効率化を推進することで、全庁的な事務の省力化を実現し、その効果が、各課所の事業実施や施策の充実、ひいては住民サービスのさらなる向上へ間接的に寄与するものと考えます。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 支払い遅延や誤払いは、当事者に不利益が生じるだけでなく、市民の信用を著しく低下させるものであることから、不適切な会計事務処理が未然に防げるような取組みを進める必要があります。
- 伝票の起票や決裁の遅れにより、債権者に適切な支払いができない恐れがあることから、支払遅延の防止や支払日の確認のため、支払伝票を請求書の到着後速やかに作成することが必要です。また、支払遅延により生じる債務者の資金繰りへの影響等についても、認識を深める必要があります。
- 会計事務は、紙媒体から電子媒体へ移行する過渡期を迎えていることから、新たな環境での事務処理をこれまで以上に円滑に行うためには、各課所と会計課の支払いに対する共通認識や相互理解をさらに進める必要があります。
- 市民からの行政への不安・不満・要望等について、的確に応えながら信頼関係を構築していくためには、発議・起案から会計処理・支払い完結までのすべての会計事務について熟知し、誰もが納得できる行き届いた説明ができるように努めていく姿勢が必要です。



◆ 課題を解決するための取組み

伝票起票の手引きの改正

- 電子決裁の導入を機に、伝票起票時における添付資料等の簡素化を行い、伝票事務の効率化を図ります。
- 伝票起票職員や決裁にあたる職員に会計事務の重要性を認識してもらうため、初心者にも理解しやすい、詳細でより丁寧な「伝票の手引き（マニュアル）」を作成し、各課所に周知するとともに伝票起票者を対象とした説明会を適時実施します。

支払内容に即した説明資料の作成と指導

- 適正な伝票作成のため、起票時の提出書類についての指導、助言を的確に行います。

各課所への有効な注意喚起

- 起票方法や支払日の設定等について、庁内電子メールや掲示板を活用し、各課所への注意喚起を行います。

公会計システムのカスタマイズ

- 請求書等の自動読み取りによる起票システムの開発が進むデジタル最新技術についての情報収集を図り、公会計システムの更新時期の到来に向けて速やかに対応できるよう備えます。

公金の収納に係る口座振替データの伝送化

- 主に DVD 媒体により金融機関とのデータ授受を行っていますが、情報伝達の安全性や確実性、迅速性の向上を目指し口座振替データの伝送化を進めます。

用語解説

※ 指定納付受託者制度：クレジットカードやスマートフォンアプリ等のキャッシュレス決済により歳入を納入する仕組みのこと。